

# シンポジウムのねらい

## 背景

かつて採られた国の強制隔離政策により、人々の間にハンセン病は怖い病気だという誤ったイメージが作られ、ハンセン病患者・元患者やその家族の方々に對する偏見や差別が生まれ、今も深刻な状況にあります。



そこで、当事者の方々やハンセン病問題に関わってこられたの方々からお話を聞き、ハンセン病問題が過去の問題ではなく「今の」問題であると認識し、その正しい知識と理解を深めるとともに、偏見や差別は身近な場面で起きることを理解し、ハンセン病問題を教訓として、同じ過ちを繰り返すことなく、偏見や差別のない社会を実現するためにはどうしたらよいか、次代を担うみなさんと一緒に考え、実現していくためのシンポジウムを開催します。



## シンポジウムの内容（仮）

中学生のみなさんにも分かりやすい内容とします！

1

### ハンセン病問題について学ぼう

ハンセン病問題の解説と当事者の方々からのお話

2

### ロールプレイワークショップ

具体的な事例をもとに意見交換

\* 上記のシンポジウムの内容は、調整中のものです。

詳細は、決まり次第、以下のウェブサイトでお知らせします。

[https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04\\_00204.html](https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00204.html)



\* 会場（新町キューブ）で参加いただくほか、リアルタイムでのオンライン配信や、アーカイブ配信でご覧いただくこともできます。会場参加の申込方法や、配信のURLについては、決まり次第、上記のウェブサイトでお知らせしますので、ご確認ください。

## ハンセン病とは？

- ハンセン病とは「らい菌」という細菌に感染することで起こる病気です。
- 手足の感覚が麻痺したり、治療法がない時代には後遺症が残ることもありました。しかし、らい菌の感染力は弱く、発病することは極めてまれです。また、万が一発病しても、現在は早期発見と適切な治療により後遺症が残ることなく完治します。
- ハンセン病問題について詳しく知りたい方は、右記のウェブサイトをご覧ください。



\* 昨年に熊本市で開催されたシンポジウムのアーカイブをご覧になりたい方は、右記のウェブサイトをご覧ください。

